

## —スタッフ—

役 職	スタッフ名
副病院長	玉置 俊治
部 長	柿本 綱之
非常勤医師	一井 倫子
非常勤医師	畑中 一生
非常勤医師	川本 晋一郎

## —概要—

当院は日本血液学会認定血液研修施設であり、これまでに造血幹細胞移植療法を含め、積極的に治癒を目指した治療を行って来た。

さらに、自家移植、血縁者間造血幹細胞移植以外に、日本臍帯血バンクおよび日本骨髄バンクを介した造血幹細胞移植が施行可能な認定施設であり、1991年から2009年までに施行したすべての移植患者数は319名である。

2009年以降、常勤医師は玉置俊治副院長1名となったため、移植医療は休止しているが、これまでの実績は多施設共同の後方視的研究等に生かされており、今後環境が整い次第、移植医療も再開予定としている。

2012年4月より柿本綱之部長が着任、常勤医師は2名となった。外来診療は玉置副院長に加えて大阪大学総合地域医療学寄附講座所属の一井倫子医師を含む非常勤医師3名が地域の医療機関よりの紹介患者の診療や化学療法や輸血療法、治療後の経過観察を行っている。

入院では、医師不足もあり、長期入院が必要な造血器疾患患者や移植適応患者は、この数年は他院に紹介していたが、2012年4月以降は体制を立て直し、積極的に入院患者の受け入れを再開しており、2012年度の入院患者数は延べ149名である。ローテーションの初期研修医も1年目7名、2年目1名が血液内科をローテートし指導を行った。

## —実績—

2012年4月～2013年3月の入院患者

(各疾患のべ患者数)

悪性リンパ腫

びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 35

ろ胞性リンパ腫 6

末梢性T細胞リンパ腫 2

成人T細胞性白血病/リンパ腫 6

ホジキンリンパ腫 2

多発性骨髄腫 9

急性白血病

急性骨髄性白血病 27

急性リンパ性白血病 8

慢性骨髄性白血病 3

骨髄異形成症候群 19

特発性血小板減少性紫斑病 4

再生不良性貧血 1

その他 11 (芽球性樹状細胞腫、慢性好中球性白血病、血栓性血小板減少性紫斑病など)